

# 第5学年国語科学習指導案

場所 5年1組・2組 教室

授業者 土屋真紀・井上奈美

## 研究主題 主体的にかかわり合い学び合う児童の育成 ～国語科における説明的な文章の指導を通して～

**1 単元名** 『メディアポケット』を広げて、『そこまで考えて委員会』の場で自分の考えを伝え合おう

**教材名** 「想像力のスイッチを入れよう」 (光村図書)

### 2 単元の目標

○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。 (知識及び技能)

○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。

(思考力、判断力、表現力等)

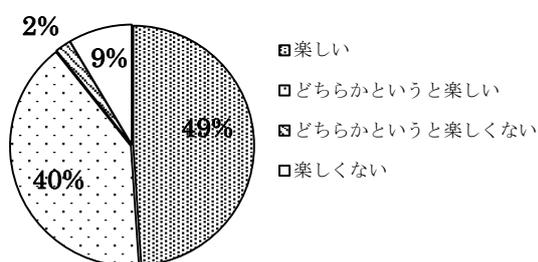
○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

### 3 単元の評価規準

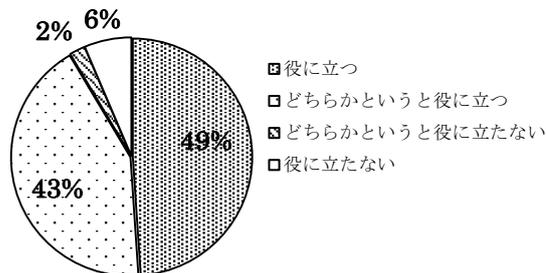
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 (1)カ)	○「読むこと」において事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(Cア) ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(Cオ)	○積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習の見通しをもってメディアとの関わり方について話し合おうとしている。

### 4 説明文意識調査

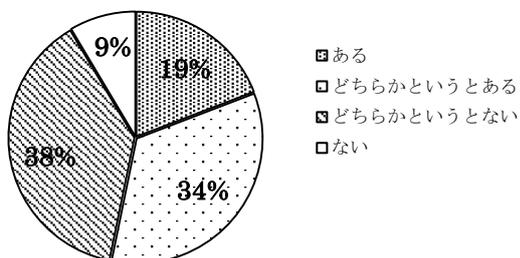
①説明文は楽しいですか。



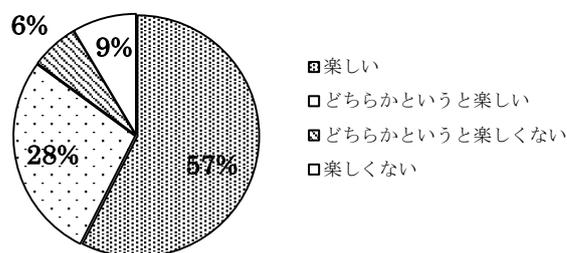
②説明文は役に立ちますか。



③説明文で学んだことを、他に生かしたことがありますか。



④調べるのは楽しいですか。



## 5 児童の実態

アンケート調査をしたところ、学年の半数以上が自分の携帯電話を持っていることが分かった。また、その携帯電話で友達と SNS アプリを使いやり取りをしている児童も 4 割程度いることが分かった。将来の夢に YouTuber や新聞や雑誌記者、報道関係、小説家や漫画家などに興味関心のある児童も多かった。ネット社会に生きる児童たちは、たくさんの情報の中から必要な情報を取捨選択することになる。

そこで、本単元では、筆者の考えを押さえた上で、児童にとって身近な「メディアとの関係」を題材に、共感や疑問をもたせたい。また、文章の要旨を捉えつつ、言葉や表現の意味について考えをもてる児童の育成につなげたい。

## 6 単元について

本単元は、学習指導要領「C 読むこと」の（ア）「事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること」、（オ）「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていくこと」を中心にする。

メディアから発信される情報を正確に受け止めるために必要な努力について、複数の事例を挙げながら考えを述べている。児童にとって身近な事例を挙げ、比喩を用いながら主張を展開することで読み手を説得しようとしている。

言語活動では、メディアとの関わりについて考えを伝え合う活動を行う。そのためには、筆者が挙げた複数の事例の意味を考え、身近なところにメディアとのつながりがあることに気付かせたい。「想像力のスイッチ」である四つのキーワードを意識することで、メディアとの付き合い方を見直し、考えをまとめる手掛かりにしたい。

## 7 研究主題に迫る手だて <学習環境デザインの工夫>

### (1) 読む目的を明確にする 【「こと」デザイン】

#### 「そこまで考えて委員会」の開催

- ・報道された情報に対し、自分がどう捉えたか考えをもたせる。人によって捉え方が様々あることや、そこから考えられることを想像させ、「メディアの情報」について考えるきっかけにする。
- ・身近な事例について紹介し、「情報」について興味関心をもたせる動機付けをする。
- ・『そこまで考えて委員会』を開催し、メディアとの付き合い方についての自分の主張を発表することを伝える。

### (2) 自分の考えを表現する 【「もの」デザイン】

#### メディアメモ    メディアポケット

- ・「メディアメモ」とは、メディアの問題点や、関わり方について自分の考えをまとめたものである。事例ごとにメディアメモを作成し、学級で一つの大きな「メディアポケット」をつくっていく。それによってメディアとの付き合い方を共有することができる。
- ・「メディアメモ」は、事例ごとに本文やグループで話し合ったことを基に作成していく。
- ・「メディアポケット」には、事例ごとに見つけたメディアの問題点や関わり方を集める。教室の前方に掲示し、共有できる環境にする。

### (3) 読みを深める 【「ひと」デザイン】

#### 小グループでの意見交換（想像・予想・推測）

- ・「報道」を具体的にイメージさせるとともに、筆者の考えを理解させる。
- ・フェイク記事や実際のニュースなどを用意し、他のメディアからの情報も「想像・予想・推測」することが必要かどうか、筆者の事例や自分たちで持ち寄った事例を基に、自分の考えをもち、3人グループで話し合う活動をする。

## 8 単元計画（全8時間）

次	時	○主な学習計画	◇支援 ◆評価 ( )評価方法
一 次	1	<p>○「そこまで考えて委員会」を開催することを知り、学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を読み、段落分けをする。</li> <li>・「初め、中、終わり」に分ける。</li> </ul>	<p>◇「そこまで考えて委員会」の内容を伝え、学習意欲を喚起する。</p> <p>◆単元全体の見通しをもち、文章全体の構成を捉えている。(主・発言)</p>
	2	<p>○段落の構成をおさえ、筆者の考えを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の考えが述べられている段落を確かめる。</li> <li>・出てきた事例と、その事例に基づく筆者の主張を大まかに把握する。</li> <li>・説明文の要旨である「想像力のスイッチを入れる」とはどのようなことか話し合う。</li> <li>・本文全体から要旨を捉える。</li> </ul>	<p>◇事例、要旨などの言葉を確認する。</p> <p>◇「想像力のスイッチ」を言い換えている箇所を見付けるよう助言する。</p> <p>◆文章全体の構成を捉え、要旨を把握している。(知・ノート、発言)</p>
	3	<p>○「マラソン」の事例について筆者の主張を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じような事例を考え、筆者の主張を確認する。</li> <li>・メディアメモを書く。</li> </ul>	<p>◇同じような事例について考えを出させる。</p> <p>◆文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解し、同じような事例を考えることができる。(知・ノート、発言)</p>
	4	<p>○「図形の見え方」の事例について筆者の主張を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で図を描き、筆者の事例を説明する。</li> <li>・メディアメモを書く。</li> </ul>	<p>◇要旨を捉え、筆者の主張を他の図形で説明できるか確認する。</p> <p>◆文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解し、同じような事例を考えることができる。(知・ノート、発言)</p>
	5	<p>○「報道」の事例について筆者の主張を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに下調べした、印象が入っている報道の事例や、印象は入っていないが、複数の事実が考えられる事例を基にメディアメモを書く。</li> </ul>	<p>◇筆者の主張や事例を根拠にメモを作れているかを確認する。</p> <p>◆文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(思・メモ、発言)</p>

1組 本時	6	<p>○事例と自分の主張を持ち寄り、「そこまで考えて委員会」を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例と自分の主張を持ち寄ってグループで話し合う。</li> <li>・報道の事例を整理して、メディアメモを書く。</li> </ul>	<p>◇この一文がどのような結論になるかを、どの部分が「事実」でどの部分が「印象」かを考えて話し合うようにする。</p> <p>◆事例を挙げて説明することの効果について考え、自分の考えをもっている。 (思・発言、ノート、メモ)</p>
	二次 8	<p>○メディアとの関わり方、問題点についての事例を持ち寄って話し合う準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広告、偏った報道、フェイクニュースなどの事例を考え、調べる。</li> <li>・メディアとの関わり方、問題点について事例と、そこから導いた自分の主張をまとめる。</li> </ul>	<p>◇全体で事例を持ち寄って共有してから、どの事例が自分の主張に使えるか考えさせる。</p> <p>◇筆者の主張や事例を根拠に主張を書けているか確認する。</p> <p>◆積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめている。 (主・メモ、発言)</p>
2組 本時	9	<p>○「そこまで考えて委員会」を開催し、メディアとの関わり方について考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えた事例を持ち寄ってメディアとの付き合い方について考えたことをグループで話し合う。</li> <li>・話したことを基に「メディアとの関わり方」について全体で共有し、自分の考えをまとめ、メディアメモを書く。</li> </ul>	<p>◇筆者の最も伝えたいこと(=要旨)は「メディアと関わる時は、想像力のスイッチを入れる」ことであることをおさえる。</p> <p>◆積極的にメディアとの関わり方について話し合おうとしている。 (主・発言)</p> <p>◇「これから、メディアとどう関わっていくべきか。」について、本文や話し合いを通して考えたことを書かせる。</p>

## 9 本時の学習

### 1組（ 6／9 第一次の6時間目 ）

#### (1) 本時の目標

○文章を読んで理解したことを基に、「報道」に関する事例について自分の考えをまとめることができる。  
(思考力、判断力、表現力等)

#### (2) 展開

主な学習活動	◇支援 ◆評価 ( )評価方法
1 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     「そこまで考えて委員会」を開催し、「報道」に関する事例について考えを広げよう。                 </div>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアからの「事例」についてのポイントを確認する。</li> <li>記事1：推測</li> <li>記事2：事実と印象</li> <li>記事3：他の見方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇教科書の文章中の大事な言葉について全体で確認する。</li> <li>◇推測、事実と印象、他の見方のポイントとなる言葉を確認する。</li> </ul>
2 事例と自分の主張を持ち寄り「そこまで考えて委員会」を開催する。 (1) 事例を持ち寄って「報道」についてグループで話し合う。  (2) 「そこまで考えて委員会」の中で納得した友達の考えやそれについての意見を自分の主張に書き加える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇予めグループをつくり、司会進行を立て、全員の意見を聞く話し合いをすることで、「報道」についての特徴を見付けられるようにする。</li> <li>◇持ち寄った事例が筆者の事例を説明できるか確認する。</li> <li>◇話型の提示をしてから、話し合いをする。</li> <li>◇記事の言葉から推測、事実と印象、他の見方ができると考えた根拠を伝えるようにする。</li> </ul>
3 「報道」に関する事例をもとに、メディアメモを書く。  ・話したことを基に「報道」の事例について全体で共有し、メディアメモを書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇メディアメモは、伝え合いが終わった後に書き加えることを伝える。</li> <li>◇メディアメモは、「報道」の問題点や、関わり方について自分の考えを書いたものにする。</li> <li>◇紹介された「報道」の「推測」「事実と印象」についてグループの中で捉え方に違いはあったかを助言する。</li> </ul> <p>◆事例を挙げて説明することの効果について考え、自分の考えをもっている。(思・発言、ノート)</p>
4 本時の学習を振り返る。 ・事例を持ち寄り、話し合いをしてみようだったかを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇複数の事例を持ち寄ったことで、自分の話し合いがどうだったか、事例を使うことのよさについて書かせる。</li> </ul>
5 次時の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習計画を基に、次時にすることを確認させる。</li> </ul>

2組（ 9/9 第二次の9時間目 ）

(1) 本時の目標

○本文や自分で用意した事例を基にメディアとの関わり方について、自分の考えをまとめることができる。  
(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

主な学習活動	◇支援 ◆評価 ( )評価方法
<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「そこまで考えて委員会」を開催し、メディアとの付き合い方について考えを広げよう。</p> </div> <p>(1) 音読をし、要旨を確認する。</p> <p>(2) 自分のメディアメモをもう一度読み、事例が自分の主張の根拠になっているか確認する。</p>	<p>◇筆者の最も伝えたいこと(=要旨)は「メディアと関わる時は、想像力のスイッチを入れる」ことであることをおさえる。</p> <p>◇前時に作成したメディアメモを使って筆者の要旨を確認する。</p>
<p>2 持ち寄った事例を基に、「メディアとの関わり方」についてグループで自分の考えを伝え合う。</p> <p>(1) 第1グループ 『そこまで考えて委員会』の中で納得した友達の考えやそれについての意見を自分の主張に書き加える。</p> <p>(2) 第2グループ</p> <p>3 話したことを基に「メディアとの関わり方」について全体で共有し、自分の考えをメディアメモに書く。</p>	<p>◇司会進行を立て、グループ全員で交流させる。</p> <p>◇話合いの中で、ただ友達の考えを聞くのではなく、質問をしたり自分の意見を伝えたりするよう言葉掛けをする。</p> <p>◇1回目の話合いで友達と話したことを、第2グループでの自分の主張の助けにしてよいと伝える。</p> <p>◆積極的にメディアとの関わり方について話し合おうとしている。(主・発言、ノート)</p> <p>◇「これから、メディアとどう関わっていくべきか。」について、本文や話合いを通して考えたことを書かせる。</p>
<p>4 本単元の学習を振り返る。</p> <p>(1) 本単元を通して、複数の事例を持ち寄って話合いをしてみて、どうだったかを振り返る。</p> <p>(2) メディアポケットに、自分のメディアメモを入れにいき、考えが広がったことを確認する。</p>	<p>◇複数の事例を持ち寄ったことで、自分の学びがどうだったかなど、事例を使うことのよさについて書かせる。</p> <p>◇完成したメディアポケットを全体で見せ、メディアとの関わり方についての考えの広がりを確認させる。</p>